

第 56 回建築士会全国大会 しまね大会紹介

3) お茶室 4 お寺のお茶室

茶室はお寺にはよく付随しています。それぞれに由緒のあるものですが、最初に普門院「観月庵」を。普門院は天台宗のお寺で、観月庵は松江藩主が作ったもので、三斎流の茶室です。建てられてから 200 年以上になるものですが、公開されています。一昨



観月庵

年解体修理を行いました。

月照寺は松江の内中原町にあって、松江藩主、松平家の菩提寺です。うっそうとした境内に入ると、初代からの松江藩主廟があります。廟と言っても立派な門と墓石のみです。松江松平家の初代は直



月照寺 松平不昧公廟門 石碑を背負ったキフ

政で、家康の孫になります。堀尾、京極の

後に入り、10 代ほど続きました。大きなカメが石碑を載せています。このカメが夜な夜な歩くのだという話を紹介したのがラフカディオ・ハーンです。なお、実際はカメではなく、キフ



です。月照寺の茶室は庫裏の一角にあります。美しい庭園が公開されています。

月照寺 茶室と庭園

松江から安来まで 30~40 分ほど車でかかります。ここにある古刹清水寺は中世に建てられた密教の寺です。本堂を修理の際には、柱に無数に開けられた釘穴があり、丑の刻参りのものと推察されています。



安来、清水寺三重塔と古門堂内部

清水寺の中に蓮常院という茅葺の寺があります。惜しいことにカバ

ルーフが架けられています。美しい屋根を持った寺です。ここにある古門堂という茶室は古い三門を解体する際の古材を使って建てられました。茶室と待合の間に大きな三門の



柱を用い、中をくりぬいて明かりを入れています。ここにはもう一つ茶室もあり、県指定の文化財です。庭園も美しい池水庭園です。ここからは清水寺の三重塔も見えます。